「赤旗」宣伝スポット

２０２０年１０月

　こんにちは、日本共産党です。コロナ危機を乗り越えて、新しい政治、新しい日本への道を切り開くため、全力をあげています。確かな情報と希望を届ける「しんぶん赤旗」を、ぜひお読み下さい。「しんぶん赤旗」日刊紙は、１カ月３４９７円。スマホで読める電子版もあります。週刊の「赤旗」日曜版は、１カ月９３０円です。

●菅首相による日本学術会議への違法な人事介入を、「赤旗」がスクープしました。「学者の国会」と呼ばれる学術会議は、「学問の自由」を確保するため、政府から独立した機関となっています。首相の政治的思惑で選別するなど、許されません。菅政権の暴挙を許さず、民主主義を守るため、ぜひ、「しんぶん赤旗」を、お読みください。

●菅首相は、「自助」が大事だと、国民に自己責任を求めています。国民は努力しています。むしろ、新型コロナや災害の問題で、責任が問われているのは政府の方ではないでしょうか。首相が国民に「自分で何とかしろ」というのは、政治家として無責任です。「しんぶん赤旗」は、冷たい政治をやめさせ、国民の命と暮らしを守るため、全力で報道します。ぜひ、お読みください。

●日本共産党は、来るべき総選挙での政権交代の実現、野党連合政権の樹立を目標に、全力をあげています。民主主義と暮らしを踏みにじる菅政権を、続けさせるわけにはいきません。市民と野党の共闘で総選挙に勝利し、新しい政治を実現しましょう。「赤旗」は、市民と野党の共闘を伝える「共同の新聞」です。歴史を切り開く力になります。ぜひ、お読みください。

※確かな情報と希望を届ける「しんぶん赤旗」の日刊紙は、１カ月３４９７円。スマホで読める電子版もあります。週刊の「赤旗」日曜版は、１カ月９３０円です。

●政府はＧＯＴＯ旅行、ＧＯＴＯイベントと旗をふりますが、感染防止は自分の責任で、国民まかせです。新型コロナ感染拡大を防ぐには、ＰＣＲ検査を抜本的にふやすことがかかせません。政府は自治体任せにせず、検査拡大に必要な財政を支援すべきです。医療や介護、保育などエッセンシャルワーカーを優先的に検査すべきです。コロナから命とくらし、営業を守る情報満載の「しんぶん赤旗」を、ぜひお読みください。

●「赤旗」の「桜を見る会」スクープが、今年の「日本ジャーナリスト会議」大賞に選ばれました。安倍前首相は、「桜を見る会」を私物化し、詐欺商法のジャパンライフ会長まで招待し、被害を拡大しました。ジャパンライフ元会長らの逮捕で疑惑がいっそう重大化しているのに、菅政権は、証拠を隠ぺいし、「問題なし」と済ませようとしています。真相解明、疑惑追及に全力をあげる「赤旗」を、ぜひ、お読みください。

※くり返し

●核兵器禁止条約は、批准国が５０に近づき、発効間違いなしです。この条約に沿って核兵器をなくしてこそ、人類は、核戦争の危険から脱け出せます。ところが、日本政府は、核兵器禁止条約に背を向けています。「赤旗」は、核兵器と核戦争を許さない立場で、廃絶をめざす日本と世界の動きを報じています。是非、お読みください。

●「しんぶん赤旗」が主催する、囲碁・将棋の「新人王戦」は、若手プロ棋士の登竜門として注目されています。将棋の藤井聡太二冠は、一昨年に新人王となり、今年、タイトル獲得の最年少記録を樹立しました。「赤旗」日刊紙は、新人王戦の熱戦譜を毎日掲載。日曜版でも、プロ棋士の解説をつけて紹介しています。ぜひ、お読みください。

※くり返し